



NEWS ECO



シブヤパイピング工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681

URL <http://www.shibuya-p.com>



やっぱり、おかしい日本の“春”。ちょっと大げさでしたが「シブヤのサクラ」は私が入社した平成元年以降で最も遅い3月31日の開花となりました。寒暖の差が激しく、最低気温が4℃の日があるかと思えば、最高気温が26℃の“夏日”もあった4月でしたが5月はどうでしょう。4月から5月にかけての連休をGWと言いますが、シブヤのカレンダーでは9連休となり、チョットした“春休み”となりました。皆さんはどのように過ごされましたか。仕事の都合で連休を取れなかった方も、家族サービスで疲れてしまった方も、思う存分体を休めた方も、それぞれの“春”を感じる事ができたでしょうか。

ISO14001・9001：2015 に取組み始めて1年が経過。2回の内部監査と1回の外部審査、2回の講習会を経て新規格の用語にも慣れ、要求事項の理解度は少しずつ増している事と思います。

5人の新入社員がシブヤのISOマネジメントシステムに馴染み、1日も早く仕事のツールとして使いこなす事が出来るよう、先輩社員の方々のご指導を宜しくお願いします。



来客用駐車場のハナミズキの根元に「マルバスマイレ」が紫色の“花かご”となって春を告げています。スマイレの花名の由来は、皆さんが現場で使う「墨壺」「墨入れ」に似ていることに由来するとか、確かに似ています。花言葉は控えめに道端や草陰にひっそりと花を咲かせる姿から「謙虚」「誠実」「貞節」「愛」「小さな幸せ」……

【ISO14001掲示板】

評価集計	部門	責管理	総務	財務	管理	技術	企画営業	静岡	浜松	岐阜	三河	小牧
◎: 推奨事項	11	1	0	0	0	0	2	1	2	2	0	3
△: 注記事項	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
×: 不適合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
※: アドバイス	17	0	1	3	1	4	0	2	0	1	3	2

【ISO内部監査】

4月10日チームリーダー会議が行われ、監査結果の内容が監査チームより報告が行われました。結果、不適合は発見されず、推奨事項11件、アドバイス17件の報告がありました。詳細内容はMRレジュメをご覧ください。(部門長に配布)

【統合マネジメントレビュー】

内部監査結果・MR記録・年間改善活動計画書・各種データ・記録等を参考に4月18日、第4回統合マネジメントレビューが開催されました。レジュメに従いレビューを行い、下記の事項について水平展開、開示することになりました。

- 1) 「改善事由報告書」の水平展開
 - 2) 「年間改善活動計画書」の開示
- ◎ 開示の方法はISO事務局より各部門長へのメール発信とする。

社内展開すべきと判断した、改善事由(リスク/機会)については「改善事由報告書」を受領後、速やかに開示する。
各部門の活動(品質目標・環境目標・リスク/機会)を知ることにより、自部門の取組みのあり方を再考し、部門間での調整、協力を図ることを目的に開示する。



4月(137号)につづいて、「ISO 14001：2015規格の概要とJQAの審査の視点」から
項番7. 支援 力量の対象や内外のコミュニケーションが強化 について
「一般社団法人 日本品質機構」のHPより掲載します。HPには、「審査の視点とチェックポイント」
「現場における留意点」などが記載されています。社員の皆さんもHPにアクセスしていただき、
理解を深め、内部監査、外部審査等、今後のISO活動に活かして行きましょう。

http://www.jqa.jp/service_list/management/iso_info/iso_network/vol27/

★☆☆ISO 14001：2015規格の概要とJQAの審査の視点

項番9. パフォーマンス評価 EMSの有効性を評価し、環境パフォーマンスの向上につなげる

項番9.1 (監視、測定、分析及び評価) は、組織が意図したEMSの成果が達成されることを確実にするために必要とする監視・測定の対象を決定し、その結果に応じて組織のEMSや環境パフォーマンスを継続的に改善するための処置につなげることを意図しています。ここでは監視・測定した対象を分析し、環境パフォーマンスを評価する基準や適切な指標を用いて評価することが要求されており、パフォーマンス志向が強化されているものです。

項番9.1.2 (順守評価)、項番9.2 (内部監査) は2004年版の内容を踏襲していますが、順守評価では、順守義務を満たしていることを評価するために必要なプロセスが求められており、ここでもプロセス志向が明確化されています。

項番9.3 (マネジメントレビュー) では、組織の内外の課題や利害関係者のニーズ及び期待、著しい環境側面、リスク及び機会に関連する変化情報を考慮することが要求されており、変化点を重視してレビューすることが強調されています。マネジメントレビューからのアウトプットについても、環境マネジメントシステムの有効性についての結論や、継続的改善の機会に関する決定等を含めることが具体的に示されています。こうした一連のPDCAサイクルを効果的に回すことで、組織が意図したEMSの成果の達成に向けた取組みが確実なものとなります。

◎審査の視点とチェックポイント

パフォーマンス評価に関しては、計画段階で結果の評価方法が計画されていることや、適切な指標を含む環境目標が設定され、監視測定の結果から環境パフォーマンスがどうやって評価され、EMSの有効性がどのように結論付けられているか、について確認します。マネジメントレビューでは、トップの関与が強く行われているかについてや、トップの指示に対する組織の対応、さらに事業プロセスとの統合の観点から、マネジメントレビューのアウトプットが組織の中長期計画等へ反映されているか、などを確認します。

☆現場における留意事項

項番9.2 (内部監査)

内部監査は、いわば人間ドックと同じですので、ありのままの現状を認識することが重要です。それにより組織のウィークポイントが明らかになり、改善点が明確になります。